

海を観る 地球を知る

3/31 SUN

10時～15時

蒲郡市生命の海科学館
1F サイエンスショールーム
* ご自由にご覧いただけます

名古屋大学 宇宙地球環境研究所
蒲郡市生命の海科学館 共催企画



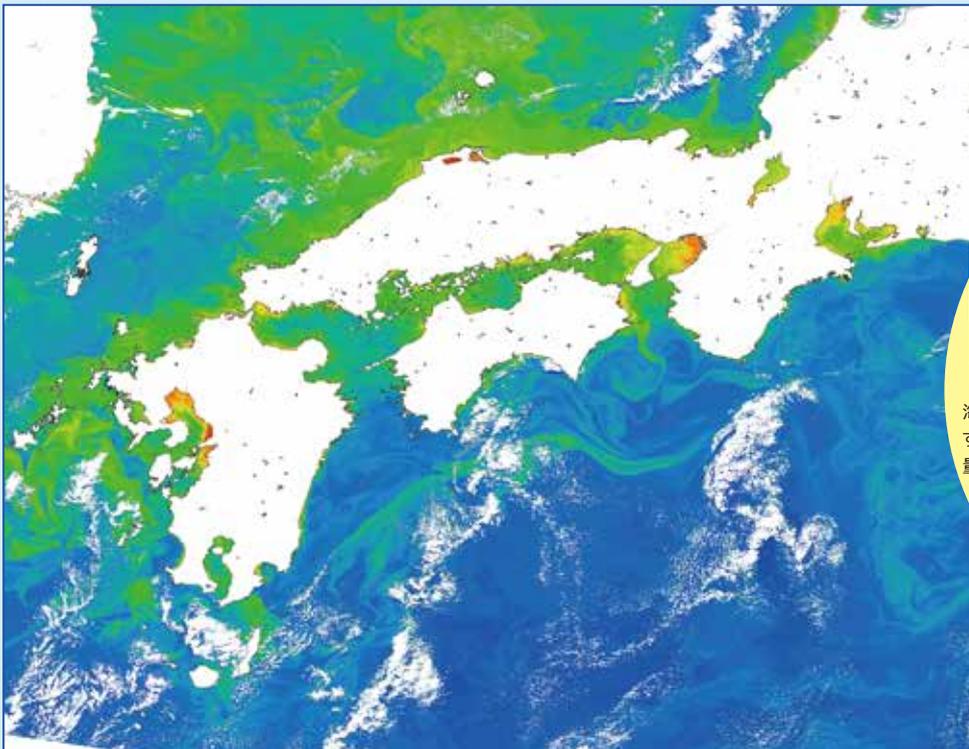
宇宙地球環境研究所
Institute for Space-Earth Environmental Research

2019 体験！ 海洋研究最前線 in 蒲郡

最先端の海洋研究を進める研究者たちが、生命の海科学館にやってきます。

研究所を飛び出して、海洋研究の最前線で行われている内容を、
魅力たっぷりにご紹介します。

★新進気鋭の研究者たちに、海の色彩のヒミツ、黒潮大蛇行のこと、地球温暖化のこと、聞いてみよう！★



©JAXA 「しきさい」衛星で測定したの植物プランクトンの分布(2018年2月27日)

ブース1

プランクトン顕微鏡観察



海水の中には、大きさも形も
様々なプランクトンが存在します。
プランクトンは海の生態系を支える大切な存在ですが、
増えすぎると赤潮などの原因にもなります。

★少し大きめの動物プランクトンは倍率の低い実体顕微鏡、
小さめの植物プランクトンは倍率の高い光学顕微鏡で
観てみよう。

ブース2

海の色彩のヒミツ



1億5千万キロメートルの旅をしてきた
太陽光は地球上の生命にエネルギーと
彩(いろどり)を与えてくれます。

海の色を人工衛星から観測
することで植物プランクトンの
量を知ることができます。



©JAXA

★分光光度計をつかって、
物の色の違いの仕組みを学ぼう。

ブース3

回転水槽実験



三河地方に温暖な気候をもた
らしている黒潮。
黒潮は熊野灘・遠州灘沖を
通り過ぎ東に進むにしたがって
蛇行し、直径 100km 程度の渦を作り出します。

★なぜ黒潮の流れがうねるのか？
実験を通して、見て、ふれて、試してみよう。

海の中の雪 (マリンスノウ)

講演会

講師 東京海洋大学 特任助教 鋤柄 千穂 さん



11時～12時 / 会場：生命の海科学館 1F メディアホール

定員 60名 / 参加無料 *事前申し込み不要です。直接会場へお越しください。

海の中には「マリンスノウ」と呼ばれる雪のようなものが降っています。このマリンスノウは、
深海魚のえさになるだけではなく、地球温暖化にとっても重要な役目を果たしていま
す。マリンスノウはどこからやって来て、どこへ行くのでしょうか？マリンスノウの秘密をめぐり、
海の中を探検しませんか？



講演者略歴
1998年 九州大学理学部化学科卒業
2006年 名古屋大学理学研究科地球惑星理学専攻 博士後期課程修了 博士(理学)取得
2006-2009年 東北大学大学院理学研究科 客員研究者
2010-2017年 名古屋大学地球水循環研究センター・大学院環境学専攻 研究員・特任助教
2017年 - 現在 東京海洋大学 船舶・海洋オペレーションセンター 特任助教

地球 46 億年、あなたにつながるストーリー



蒲郡市生命の海科学館

◀◀◀ がまごりしいのちのうみかがくかん

〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17 番 17 号

http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/

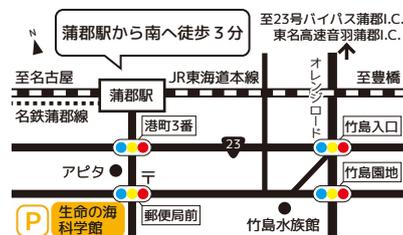
お問い合わせ TEL: 0533-66-1717

【開館時間】
9:00～17:00 (入館は 16:30 まで)

【休館日】
火曜日
*年末年始 (12/29～1/3)

【観覧料】
高校生以上 500円 (300円)
小・中学生 200円 (100円)

*観覧料()内は 30名以上の団体料金
*蒲郡市に在住の方は市民利用証提示で無料



科学館ホームページ